



病気の連鎖を断ち切る!

# ディサイトコロアブル®

## 特長



### ダラースポット病に高い効果!

- 》既に発生しているダラースポット病の進行を抑制します。
- 》予防・治療ともに高い効果を発揮します。



### ローテーションの1剤に!

- 》グリーンに発生するダラースポット病、炭疽病、葉腐病(ブラウンパッチ)に登録があります。
- 》グリーン病害のローテーションの1剤としてご使用いただけます。



### ベントグラス・日本芝に対して安全性が高い!



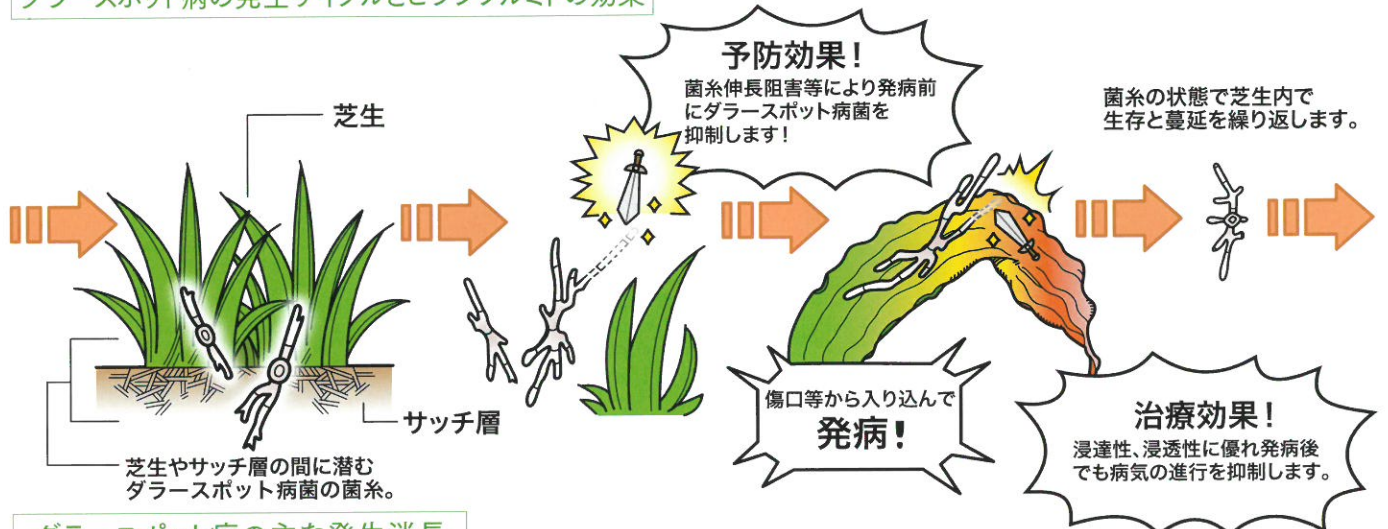
株式会社 二チノ一緑化



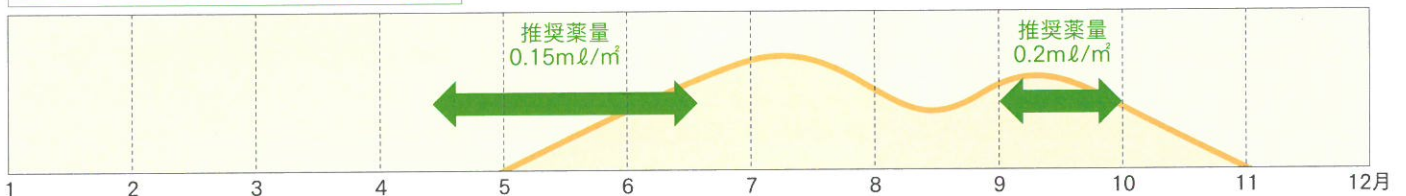
# 新規殺菌成分ピラジフルミドについて

- コハク酸脱水素酵素阻害剤(SDHI剤)の中で唯一のピラジンカルボキサミド骨格を有し、幅広い病害に有効です。
- 子のう菌を中心とした各種病原菌の孢子発芽、菌糸伸長に対して強い阻害活性を示します。
- 孢子形成阻害活性を有することから二次感染の防止効果があります。
- ダラースポット病の病原菌のあらゆるステージに作用します。

## ダラースポット病の発生サイクルとピラジフルミドの効果

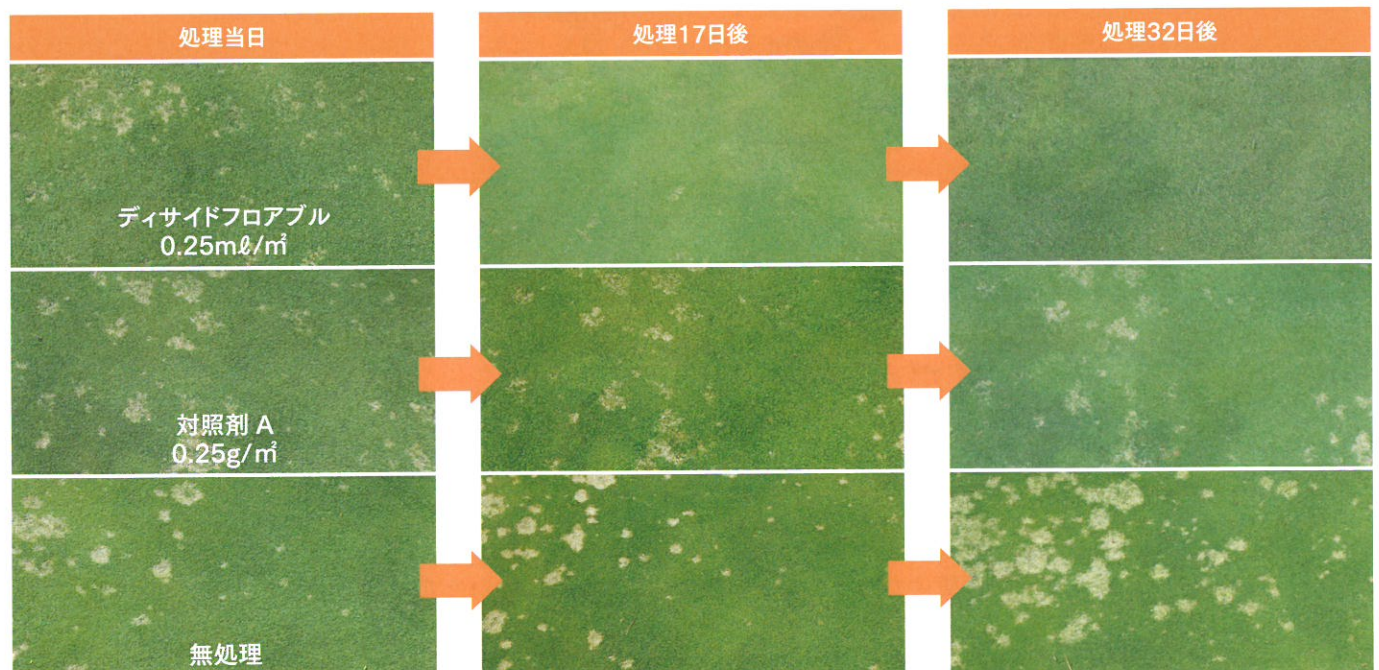


## ダラースポット病の主な発生消長



## ダラースポット病に対する治療効果(発生後処理)

ディサイドフロアブルは、優れた浸達性・浸透性により発生後の処理においても病気の進行を抑えます。

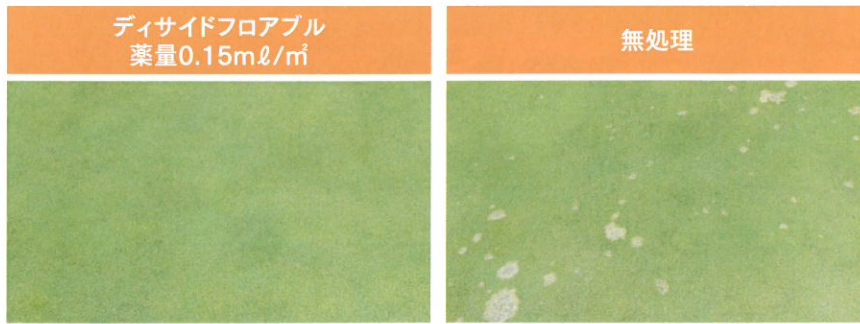


試験年度:静岡県Aゴルフ場  
処理日:5月19日  
調査日:6月20日(処理32日後)

区別:1区2m<sup>2</sup> 3反復  
散布水量:500ml/m<sup>2</sup>  
試験方法:ダラースポット病発生後に薬剤を処理し、処理17日後と32日後にパッチの進展具合を調査した。  
(株)ニチノー緑化社内試験2017年)

# ダラースポット病に対する予防効果(発生前処理)

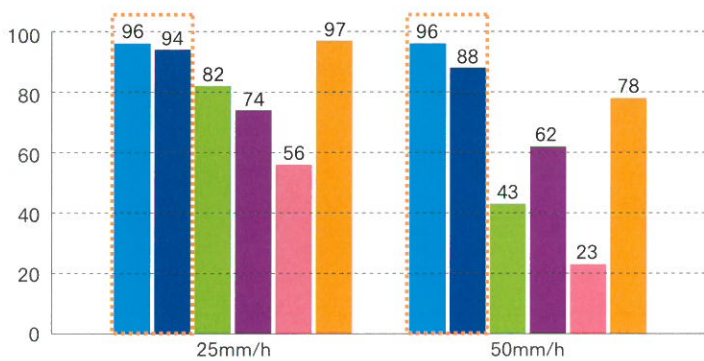
ディサイドフロアブルは、発生前処理で長期間発病を抑えます。



試験場: 栃木県Bゴルフ場  
 処理日: 5月2日  
 調査日: 6月8日(処理37日後)  
 区制: 1区4m<sup>2</sup> 2反復  
 散布水量: 200ml/m<sup>2</sup>  
 試験方法: ダラースポット病発生前に薬剤を処理し、  
 処理37日後に調査した。  
 (株)ニチノ緑化社内試験2018年)

# ディサイドフロアブルの耐雨性

散水や降雨の影響を受けにくく、安定した効果を発揮します。



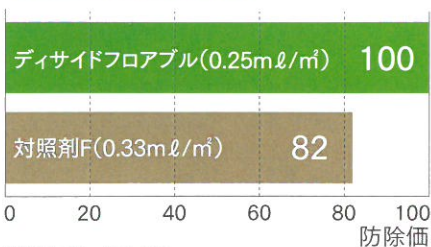
■ ディサイドフロアブル (0.25ml/m<sup>2</sup>・500ml/m<sup>2</sup>散布)  
 ■ ディサイドフロアブル (0.13ml/m<sup>2</sup>・200ml/m<sup>2</sup>散布)  
 ■ 対照剤B (0.25g/m<sup>2</sup>)  
 ■ 対照剤C (0.08g/m<sup>2</sup>)  
 ■ 対照剤D (0.25g/m<sup>2</sup>)  
 ■ 対照剤E (0.12ml/m<sup>2</sup>)

試験場: 日本農薬(株)総合研究所  
 区制: ベントグラスポット 4反復  
 散布水量: 対照剤は500ml/m<sup>2</sup>  
 試験方法: 薬剤処理後、1.5時間風乾し、人工降雨装置で25mm/hと50mm/hの降雨を再現した後、ダラースポット病菌を接種した。接種5日後、本病による被害度を評価した。  
 (日本農薬(株)社内試験2017年)



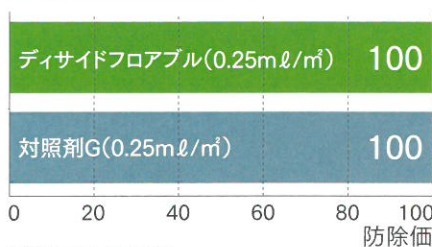
# 試験成績 新農薬実用化試験成績より抜粋 (一社)日本植物防疫協会

## ダラースポット病



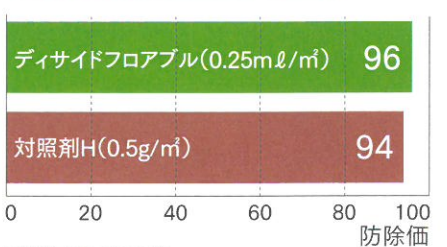
試験年度: 2014年  
 試験機関: (一財)関西グリーン研究所  
 処理条件: 発生初期処理(中発生)  
 区制: 1区1m<sup>2</sup>3反復  
 散布水量: 500ml/m<sup>2</sup>  
 処理日: 5月22日、6月9日  
 調査日: 6月25日(2回目処理16日後)

## 炭疽病



試験年度: 2015年  
 試験機関: 東日本グリーン研究所  
 処理条件: 発生前処理(中発生)  
 区制: 1区2m<sup>2</sup>3反復  
 散布水量: 500ml/m<sup>2</sup>(対照剤は250ml/m<sup>2</sup>)  
 処理日: 8月29日、9月6日  
 調査日: 9月19日(2回目処理13日後)

## 葉腐病(ブラウンパッチ)



試験年度: 2014年  
 試験機関: (一財)関西グリーン研究所  
 処理条件: 発生初期処理(多発生)  
 区制: 1区1m<sup>2</sup>3反復  
 散布水量: 500ml/m<sup>2</sup>  
 処理日: 7月22日、7月30日  
 調査日: 8月10日(2回目処理11日後)

新農薬実用化試験成績において、薬害が確認された事例はありませんでした。

## 成分・性状

商 品 名:ディサイドフロアブル  
種 類 名:ピラジフルミド水和剤  
有 効 成 分:ピラジフルミド…20.0%  
性 状:類白色水和性粘稠懸濁液体  
包 装 規 格:500ml×4本

## 安全性

毒性区分	普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
急性経口毒性	ラット♀LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg
急性経皮毒性	ラット♂♀LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg

## 適用病害および使用方法(一部抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍率 (薬量)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ピラジフルミドを 含む農薬の 総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	ダラースポット病	1,500倍 (0.13ml/m <sup>2</sup> )	200ml/m <sup>2</sup>	発病初期	4回以内	散布	4回以内
	葉腐病 (ブラウンパッチ)	2,000倍 (0.25ml/m <sup>2</sup> )	500ml/m <sup>2</sup>				
	炭疽病						

(詳しくは製品ラベルを確認して下さい。)

## 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

## 安全使用上の注意

- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は直ちに手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てる等配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 使用後の空ボトルは圃場などに放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。



株式会社 二チノ一緑化

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14番4号 岡谷ビルディング6階  
TEL(03)3808-2281 FAX(03)3808-2360  
大阪営業所 TEL(072)727-8015  
<http://www.nichino-ryokka.co.jp>

2019年1月作成